

10 国家戦略特区の指定を契機とした新産業・新事業の創出に向けた支援の充実

(文部科学省・経済産業省)

▶ ベンチャー育成やイノベーション促進による新産業・新事業創出の加速化への支援を

平成 26 年 5 月に国家戦略特別区域に京都を含む関西圏が指定され、京都の強みを活かした医療・ライフ分野の提案が、国際的なイノベーション拠点を京都・関西で形成するとして、高く評価されたものと考えております。今回の指定を最大限活用し、中小企業の振興も含め、日本の経済成長の牽引役を果たしていく決意を新たにしたところです。

一方、京都市では、大学や研究機関等の厚い学術的集積、独自の強みを発揮しながら国際的に活躍する企業群、更には、幾多のベンチャー企業を輩出してきた風土や仕組みを活かし、産学公連携による「京都バイオシティ構想」(平成 14 年 6 月策定)や「京都市グリーン産業振興ビジョン」(平成 26 年 5 月策定)等に基づき、「研究プロジェクトの推進」、「ベンチャー育成支援」、「産学公のネットワーク形成」による基盤を構築し、新産業・新事業創出に向けて取り組んできました。

京都は、高い技術力に裏打ちされた伝統産業から先端産業が生まれ、多くのベンチャー企業を輩出しております。次代を担う有望な芽が至る所に存在していることから、新事業展開や経営革新に取り組むベンチャー・中小企業を認定・支援する制度を実施するなどベンチャー企業の更なる創出に取り組んでいるところですが、人材面や資金面において支援が不足している現状があります。

今後、更なる日本経済の活性化のため、ベンチャー創出や経営革新などのイノベーションを促進し、新産業・新事業の創出を加速させるため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- 1 新事業創出・ベンチャー育成に向けたコーディネータの派遣やそれら人材の処遇改善に対する支援
- 2 産学連携による研究開発やベンチャー企業創出・育成等に対する、自由度の高いファンドや地域が主体となり認定を行う補助事業の創設等の地域特性に応じた支援

新産業・新事業の創出に向けて

本市の取組

「京都バイオシティ構想」等に基づき、産学官連携の下、「研究プロジェクトの推進」、
「ベンチャー育成支援」「ネットワーク形成」による基盤を構築し、新産業・新事業の
創出を推進！！

地域産学官共同研究拠点整備事業

- 高度研究機器を活用した共同研究や人材育成を展開
- ・平成25年度の機器利用は、4,765件。人材育成の講習会等には、延べ558名が参加

ライフイノベーション創出支援事業

- 革新的な医療技術に関する研究開発活動に助成
- 大学・病院・企業間のコーディネート活動 など
- ・3年間で49件の事業に助成（応募172件）。
「簡易型iPS細胞自動培養装置」、「生体用非接触硬度計」等を実用化

未来創造型企業支援プロジェクト

- ベンチャー企業の発掘から育成まで一貫したサポートの実施
- ・ベンチャー企業目利き委員会にて106社をAランク認定し、成長・発展を支援



特に、健康・医療の分野では・・・

- 国家戦略特別区域に指定（26年5月）
⇒これにより、再生医療をはじめとする先端的な医療機器等の研究開発の事業化の推進が図られる！！

次代をリードするベンチャー企業の育成を推進することが、特区の推進にも資する！！

課題・問題点

【大学の研究を事業化に結び付ける仕組みの創設】

大学の技術と企業のニーズの橋渡しをする優秀なコーディネータ人材の配置等が重要

【ベンチャー創出時における事業化資金の負担】

自由度の高いファンドや地域が主体となり認定を行う補助事業の創設などにより、ベンチャー企業の成長段階や課題に応じた研究開発・事業化資金の継続的な支援が重要

新産業・新事業創出の加速のために！

- 新事業創出・ベンチャー育成に向けたコーディネータの派遣やそれら人材の処遇改善に対する支援
- 産学連携による研究開発やベンチャー企業創出・育成等に対する、自由度の高いファンドや地域が主体となり認定を行う補助事業の創設等の地域特性に応じた支援